



先人が育んだ郷土の文化遺産



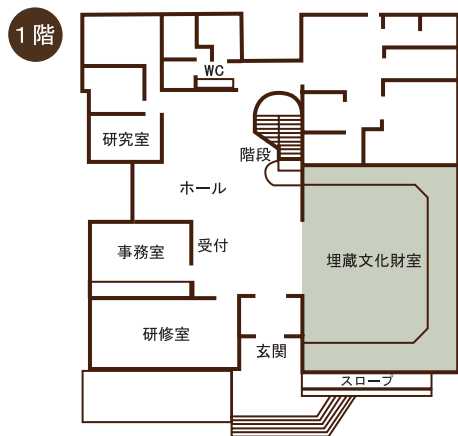
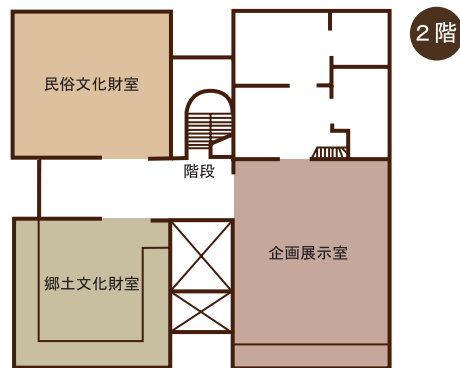
渥美半島は、黒潮おどる太平洋と波静かな三河湾にいだかれ、温暖な気候に恵まれた豊かな自然の中に、深い歴史を秘めています。

先人たちは、この美しい土地に原始、古代より住みついて、自然とのたたかいの中で知恵を出しあい、力をあわせ、道具を作りながら苦難を乗り越えてきました。

こうした風土の中で育まれた人々の生きざまを、考古資料、歴史資料、民俗資料などを通して考えてみたいと思います。昔の生活の歴史を知ることが、これからの郷土を考える手がかりになるからです。



昭和59(1984)年の開館以来、郷土渥美に関するさまざまな資料の収集・保存・活用につとめています。展示室は、3つの常設展示室と、1つの企画展示室からなります。



企画展示室



企画展示室では、さまざまな特別展、企画展が開催されています。また、貸ギャラリーとしてもご利用いただけます。

埋蔵文化財室



縄文時代の保美貝塚、伊川津遺跡から出土した考古資料をはじめ、弥生、古墳時代の各種資料や奈良東大寺の鎌倉再建時の瓦などに代表される渥美古窯製品を展示しています。

民俗文化財室



渥美の人々の生活は、古くから漁業と農業によって支えられてきました。ここでは、大正から昭和初期までの“暮らし”に焦点をあて、農具・漁具・生活用具を展示しています。

郷土文化財室



江戸時代から明治・大正・昭和、そして現在にいたるまでのまちの歴史をテーマとして、古文書や村絵図など、さまざまな資料を展示しています。